

親の想いを伝え、子どもの生き抜く力を応援する 『HAPPA NOTE®（ハッパノート）』※出版のクラウドファンディング 頑張るエイジングママ®※の自己肯定感も高めたい

※HAPPA NOTE®：子どもの18歳の誕生日に贈る子育ての想いを綴ったノート。詳細後述

※エイジングママ®：35歳以上で出産したステキな母親のこと。「高齢出産」に抵抗感があり造語



familyse 代表
浅井 奈美



『HAPPA NOTE』イメージ



『お手紙ワークショップ』

【概要】

エイジングママ®が自分らしさを大切にしながら子育てを楽しめる環境作りを事業としている familyse（ファミリーゼ、兵庫県尼崎市、代表 浅井 奈美《あさい なみ》）は、7月15日～8月15日、『HAPPA NOTE®』出版するため、クラウドファンディングを実施します。

【HAPPA NOTE®とは】

将来、大人への一步を踏み出す18歳の誕生日に我が子へ贈る言葉のプレゼント。親元を離れたあとも、たとえ親がそばにいなくなっても、このノートが子どもの人生をそっと応援し続けてくれることを祈って。A5サイズ、約80ページのノート

- ①親のこと：両親の出会いや親の仕事のこと、大切にしている言葉、影響を受けた音楽など
- ②子育てのこと：子育てをするなかで印象的だったエピソードのこと。イヤイヤ期はどうだった？など、項目ごとに書きやすくしています
- ③ルーツのこと：子どもの祖父母や曾祖父母のことなど

【HAPPA NOTE®制作のきっかけ】

代表の浅井はコロナ禍の2020年、44歳で第1子を出産しました。夫の立会いも許されず、孤独でした。出産後も外出がままならず、ママ友も作れません。連日のコロナ感染者数・死亡者数のニュースを観て、もし自分が感染し、急に亡くなったらこの子はどうなるのだろう？と不安でした。

最初は、自分が亡くなったときのために、夫に赤ちゃんの1日のルーティン（授乳のタイミングややり方など）をシェアしておく必要性を感じました。そこから、子どもの名前の由来や、私たち両親の出会い、結婚の経緯、家族のルーツなども残したいと考えるようになりました。年齢を重ねてからの出産だったので、「あと何年我が子と一緒にいられるのだろう」と思い、できるだけ子どもに伝えたいことを書き残したくなってきました。

ところが、本屋等で探しても育児日記やエンディングノートでは、子どもに伝えておきたいことを書くノートとしては不十分さを感じました。それならば自分で作ろうと考えました。

問い合わせ先

浅井 奈美（あさい なみ）
電話：090-7764-3020
メール：asai@familyse.com
住所：〒660-0862 尼崎市開明町2-11 神鋼建設ビル706
(株)エクセルカナヤマ内

概要

familyse（ファミリーゼ）
代表：浅井 奈美
設立：2023年
事業内容：エイジングママ®が自分らしさを大切にしながら子育てを楽しめる環境作り

【HAPPA NOTE®制作までの経緯】

HAPPA NOTEをつくりたいと思ってから、こんなノートを欲しい人が私以外にいるのだろうかと思い、自分以外の方に話してみるのに1年ぐらいかかりました。夫と子どもがいない親友にも相談してみると、2人ともアイデアに賛成してくれました。夫から「子どものいる人にも聞いてみたら」と言われたものの、コロナ禍で相談できるママ友がおらず、子どもがいる方にお話しできるまでに、さらに1年ほどかかりました。その後、高齢出産だったので、娘が小学校に入ったりするタイミングまで待っている時間はないと思い、娘が3歳になる年に、この事業に取り掛かることにしました。

まず、大阪府よろず支援拠点と尼崎商工会議所に相談に行きました。そして、尼崎商工会議所に支援してもらって兵庫県の起業家補助金にチャレンジしました。しかし、採択されませんでした。ニーズのない事業ということかと、すごくへこみました。パンフレットやサンプルもまだ作っていない段階で、強い想いだけで具体性がなかったことが不採択理由だと思います。その後、商工会議所で小規模事業者持続化補助金への応募を勧められ、こちらは採択されました。

小規模事業者持続化補助金申請中に、尼崎商工会議所の創業塾に入りました。創業塾では、事業計画を具体化し、最終日のプレゼンテーションで、「子どもにどれだけ愛情をかけようとしているか、すごい伝わってきた。そのノート、ぜひ作って作って」「高齢出産したら子どもと過ごせる時間がどうしても若いお父さんお母さんに比べて短くなるということにすごく共感できる」と言われ、高い評価を得ました。

尼崎市小田地域課との共催の高齢出産の母親たちの交流を中心とした会（「エイジングママ®の会」）をはじめました。その会に参加した47歳で出産したお母さんにこのノートの話をしたら、「絶対作ってください」と大賛成でした。高齢出産の方の中には、流産経験や不妊治療されたりしてようやくの出産という方も多く、とても苦しい思いもしてきて産んだので、このノートにかける想いに強く共感してくださるようです。

また、高齢出産の方だけでなく、大病をされたことがある方、ご自身の親が高齢出産だった方など、様々な方から応援の声をいただいています。

最近では、HAPPA NOTEの感動を手短かに体験をしていただく、子どもへのラブレターを書く「お手紙ワークショップ」を「エイジングママの会」やマルシェなどで10回以上開催し、好評を得ています。

【今後の方針】

・エイジングママの場合、子育てが落ち着くのを待っていたら人生残された時間がなくなってしまう。子育てと同時並行で、仕事や趣味など自分のやりたいことなど、自分らしく生きて幸せを感じるためのサポート、お手伝いをしていくことを方針として掲げています。
この『HAPPA NOTE』の出版を機に、HAPPA NOTEを皆で書いたり、癒しや学びを通じて自分を丁寧に扱ってもらおうコミュニティを作りたいと考えています。

【背景】

- ・晩婚化
- ・高齢出産の増大
- ・折れやすい子どもたちの増加
- ・子育てや仕事に忙しくストレスを抱える母親の増加

問い合わせ先

浅井 奈美（あさい なみ）
電話：090-7764-3020
メール: asai@familyse.com
住所：〒660-0862 尼崎市開明町2-11 神鋼建設ビル706
(株)エクセルカナヤマ内

概要

familyse（ファミリーゼ）
代表:浅井 奈美
設立：2023年
事業内容：エイジングママ®が自分らしさを大切にしながら子育てを楽しめる環境作り